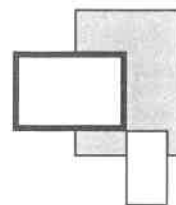




Matsuyama
Business
College

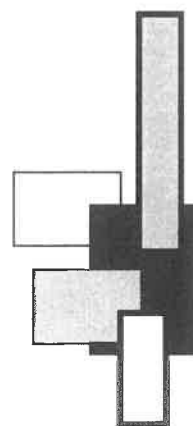
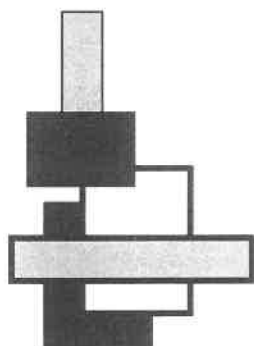


松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科

2025 年度

シラバス



ファッションビジネスコース 1 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和7年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース

必修 / 選択		区分	科目名	種別	担当者	ファッションビジネス コース1年		
						前期	後期	単位
必修		学科	色彩学Ⅰ	講義	森田	30		2
			ファッション知識Ⅰ	講義	竹松	30		2
			西洋服飾史	講義	秋山	30		2
			デジタル演習Ⅰ	実習	武智明	30		1
			写真撮影技法Ⅰ	実習	帽子	30		1
			英会話Ⅰ	講義	宇野	30		2
			服飾造形基礎	実習	由雄	30		1
			ショップマスターⅠ	講義	武智弘	30		2
			ファッションビジネスⅠ	講義	竹松	60		4
			スタイリング実習Ⅰ	実習	稲美	30		1
			サービス接遇Ⅰ	講義	重橋	30		2
			ブランド企画Ⅰ	講義	秋山	30		2
			ファッション販売実技Ⅰ	講義	稲美	30		2
			色彩学Ⅱ	講義	森田		30	2
			ファッション知識Ⅱ	講義	竹松		30	2
			デジタル演習Ⅱ	実習	武智明		30	1
			写真撮影技法Ⅱ	実習	服部		30	1
			英会話Ⅱ	講義	宇野		30	2
			服飾造形応用	実習	由雄		30	1
			ショップマスターⅡ	講義	武智弘		30	2
			ファッションビジネスⅡ	講義	竹松		60	4
			マーケティングⅠ	講義	大方		30	2
			スタイリング実習Ⅱ	実習	稲美		30	1
			サービス接遇Ⅱ	講義	重橋		30	2
			ブランド企画Ⅱ	講義	秋山		30	2
			ファッション販売実技Ⅱ	講義	稲美		30	2
			店舗実習Ⅰ	実習	-		60	2
必修科目 合計						420	480	50
						900		
年間合計時間/単位数						900		50
選択			ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	三根生	60		2
			ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	三根生		60	2
選択科目 合計						120		

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。

授業科目	色彩学Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論－色彩のはたらき		色彩の機能、服装と色彩、ファッションと色彩				
2	色彩の体系		色の三属性、色相環作成				
3～4	〃		ヒュー&トーン、トーンマップ作成				
5～6	パーソナルカラー診断		パーソナルカラーとは、診断実演				
7	〃		似合う色コードのカラーージュ作成				
8	色彩理論－基礎		色の成り立ち、光と色、演習発表				
9	〃		三原色と混色				
10～11	〃		視覚と色、色彩と心理				
12	色彩の技術		配色の基礎、色相を基準にした配色、配色演習				
13	〃		トーンを基準にした配色、配色演習				
14	〃		色彩構成の基礎				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩Ⅰ』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判・3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパー-A3・A3クリアファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション知識Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	レディースアイテム知識を学ぶ				
学習到達 目標	現場で通用するアイテム知識を習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ・店長経験のある講師が、その経験を活かし、アイテム知識・コーディネート技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	概要	ファッションアイテムについて			
2		アイテムの分類			
3	レディースアイテム	ブラウス			
4		シャツ			
5		ワンピース			
6		ブランドごとのアイテム特徴			
7		スカート			
8		パンツ①			
9		パンツ②			
10		ブランドごとのアイテム特徴			
11		ジャケット			
12		アウター①			
13		アウター②・スーツ			
14		ブランドごとのアイテム特徴			
15		まとめ			
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題80%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備する				

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	金曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	洋服の歴史を時系列で理解することで時代ごとの各ファッションの成り立ちを掘り下げる						
学習到達 目標	洋服の歴史を知ることによって自身のアイデアソース、企画提案に役立てる基礎を身につける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	歴史的背景と洋服		歴史の事象とファッションの関係性を掘り下げて考察				
2	各国のファッション		古着、ビンテージ、アンティークから世界の洋服の傾向を考察				
3	50sファッションと背景		世界大戦とその後生まれたカルチャーとの関連性				
4	60sファッションと背景		ファッション熱が上がった背景と音楽、アートとの関連性				
5	70sファッションと背景		新たなムーブメントとプレタポルテ				
6	80sファッションと背景		MIXカルチャーの始まりとリバイバル				
7	レポート		レポート提出				
8	雑誌とファッション		雑誌の変遷とファッションとの関係				
9～10	MIXカルチャーとストリート		様々なストリートカルチャーの考察				
11	90sファッションと背景		MIXカルチャーの成熟とその背景				
12	00sファッションと背景		ビッグメゾンの復活とモードとストリートの関係				
13	最近の世界のファッション		2010以降のファッションの流れを考察				
14	2025以降のファッション		今後のファッションシーンの予測				
15	レポート		レポート提出				
使用テキスト 教材・教具	スライドで解説						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	毎時間の小テスト50%、レポート2回それぞれ25%で評価する						
履修上の 留意点	毎回小テストがあるので要出席			検定試験の 概要			
備考	テキストがないのでそれぞれメモやノートを自身で作成して自分なりの資料を作成する オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する						

授業科目	デジタル演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	武智 明子			時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な『Microsoft Word』『Microsoft Excel』『Microsoft PowerPoint』の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれたワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①		Wordの基本操作を学ぶ				
2	Word ②		Wordで基本的な文書を作成する				
3	Word ③		画像や図形を活用した文書を作成する				
4	Word ④		表を活用した文書を作成する				
5	Word 演習		Wordの復習として演習課題を解く				
6	PowerPoint ①		PowerPointの基本操作を学ぶ				
7	PowerPoint ②		オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する				
8	PowerPoint ③		プレゼンテーションに動きを設定する				
9	PowerPoint 演習		PowerPointの復習として演習課題を解く				
10	Excel ①		Excelの基本操作を学ぶ				
11	Excel ②		データを計算し表の体裁を整える				
12	Excel ③		いろいろな関数を利用する				
13	Excel ④		グラフ機能やデータベース機能を利用する				
14	Excel 演習		Excelの復習として演習課題を解く				
15	まとめ		WordとExcelを連携した書類を作成する				
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんMicrosoft365』技術評論社(ISBN: 9784297114749)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	写真撮影技法Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	帽子 悠			時間割	水曜 4・5限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目標	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界で必須となる基礎の撮影知識						
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コマーシャル業界でのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関する基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	フォトディレクション思考	SNS時代の写真とディレクション ファッション業界における写真の有用性を知る イメージを伝える写真と理解してもらうための写真の違い 撮影能力と同等に必要なディレクション能力について 撮影の段取りと準備 実際の現場の写真为例に挙げ撮影準備やそのコンセプトを学ぶ ファッション写真の撮り方とその方法					
3～4	カメラ&撮影基礎知識	デジタル時代の写真と機材(レンズ含む) データの扱いについて レンズの違いによる作品の違い DPI(解像度)の違いや画像形式、その取り扱い カメラの使い方、モードと撮影方法について 画像補正方法					
5～6	写真表現	光の強さ/光の方向 光の違いによる写真の違いとコントロール方法を学ぶ 実習1 スマートフォンを使ってさまざまな光を探して小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってレタッチしてみる					
7～8	写真表現	アングル/背景/構図 アングルや構図、背景の違いを知る 実習2 スマートフォンを使ってさまざまな背景を使って小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってレタッチしてみる					
9	メディア別写真	紙とwebと写真 写真の撮影紙表現用撮影とWEB撮影用の違いとその撮影アプローチ 写真レイアウトや撮影後のデザイントリミングの有用性などWEB×写真 デジタル技術の浸透とDX化によるWEB×写真 SNS×写真					
10～15	撮影テクニック (一眼レフカメラ使用)	実習3 人物編ー撮影からレタッチまで 実習4 商品撮影編ー撮影からレタッチまで 実習5 課題研究(撮影から画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライトなど						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	英会話Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子			時間割	木曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する						
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現を学ぶ 緊急時やトラブルに対応するフレーズを学ぶ						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	レベルチェック 自己紹介		英語レベルの確認と、挨拶・自己紹介・日常会話など気軽な会話を楽しむ				
2	役立つフレーズ		聞き取れない・わからないときや、謝罪のときに使えるフレーズを学ぶ				
3	役立つ表現		相槌や感謝など、お客様に対する細やかな表現を学ぶ				
4	雑談の会話		お客様との距離を縮めるための話題に関する表現を学ぶ				
5	接客①		お客様を迎える際の表現と、営業時間や店内の案内に関する表現を学ぶ				
6	接客②		電話対応に必要な表現を学ぶ				
7	接客③		お客様を見送る際の表現を学ぶ				
8	接客④		お客様の購買意欲をそそる表現と、在庫切れの際の対応を学ぶ				
9	接客⑤		値段交渉と包装に関する表現を学ぶ				
10	接客①～⑤		接客①～⑤の復習とアウトプット・ロールプレイング練習				
11	接客⑥		返品や交換の際に役立つ表現を学ぶ				
12	接客⑦		デザインやサイズ、素材や色などの好みを聞く際と、お手入れの方法を説明する表現を学ぶ				
13	接客⑧		試着に関する表現と、試着後のほめ方のフレーズを学ぶ				
14	緊急時対応		急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を学ぶ				
15	前期終了テスト		前期内容について確認				
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(ISBN:9784863922037)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること						

授業科目	服飾造形基礎	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	由雄 麻由子	時間割	水曜隔週 3・4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	洋服の製作工程である縫製の知識と技術の修得を目指す				
学習到達 目標	基本的な手縫い、ミシンの扱いができる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 洋裁の実務経験のある教員が、縫製の知識と技術について指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ガイダンス・ミシンの説明	裁縫道具の説明・ミシンの説明・アイロンの説明			
2	手縫いの基礎1	玉結び・玉止め・ぐし縫い			
3	手縫いの基礎2	まつり・たてまつり・千鳥かけ			
4	手縫いの基礎3	カギホック付け・スナップ付け			
5	手縫いの基礎4	ボタン付け			
6	針山作り1	型紙作り・裁断・縫製			
7	針山作り2	仕上げ			
8	ミシン練習	本縫い・雑巾作り			
9	ロックミシン	糸のかけ方・ミシンの扱い			
10	ポケット付きトートバッグ製作1	裁断			
11	ポケット付きトートバッグ製作2	ポケット付け			
12	ポケット付きトートバッグ製作3	ミシン・ロックミシンを使用して縫製			
13	ポケット付きトートバッグ製作4	ミシン・ロックミシンを使用して縫製			
14	ポケット付きトートバッグ製作5	仕上げ			
15	修了テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担				

授業科目	ショップマスターⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃			時間割	水曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	自己紹介 コミュニケーション	自己紹介・自己PR・コミュニケーション					
2～3	コミュニケーション能力向上 vol.1	基本的なビジネスコミュニケーション能力向上を目的					
4	ショップマスターの仕事	企業研究・企業の仕組み・店長業務					
5～6	販売員の姿勢・敬語	社会人の基本的な姿勢・敬語講座					
7	ミニテスト	中間テスト					
8～10	接客プロセス研究	接客のプロセスフローの基本を学ぶ					
11～14	売上計算とHOW TO	販売する上で必要な専門用語と計算方法					
15	まとめテスト						
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	まとめテスト100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅠ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションビジネス能力検定3級テキストを進めながらファッション業界の基礎知識を習得する						
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	3級テキスト ビジネス1章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
3～4	3級テキスト ビジネス2章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
5～6	3級テキスト ビジネス3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
7～8	3級テキスト ビジネス4章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
9～10	3級テキスト ビジネス5章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
11～12	3級テキスト ビジネス6章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
13～14	3級テキスト ビジネス7章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
15～16	3級テキスト ビジネス8章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
17～18	3級テキスト ビジネス8章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
19～20	3級テキスト 造形1章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
21～22	3級テキスト 造形2章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
23～24	3級テキスト 造形3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
25～26	3級テキスト 造形3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
27～28	3級テキスト 造形4章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
29～30	3級テキスト 造形5章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う ※期末テスト					
使用テキスト 教材・教具	『ファッションビジネス3級新版』日本ファッション教育振興協会 『FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版』日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、期末テスト70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2025年11月22日(土)		
備考							

授業科目	スタイリング実習Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	コーディネート基礎を学び、スタイリングブックを制作する				
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	概論	スタイリストについて			
2	スタイリストバッグ	スタイリストバッグについて			
3	スチームアイロン	スチームアイロンの使い方			
4		実践			
5	底張り	底張りの必要性について			
6		実践			
7	コーディネート実習	ボディの扱い方、リース方法			
8	テスト	スチームアイロン、底張り テスト			
9	コーディネート実習	テーマを決めてコーディネート			
10		モデルにコーディネート			
11		//			
12	テスト	ボディの扱い方テスト			
13	コーディネート実習	企業案件を想定したコーディネート			
14		プレゼン			
15	まとめ	まとめ			
使用テキスト 教材・教具	スチームアイロン、ビニールテープ				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する		検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する				

授業科目	サービス接遇Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス業について理解し、知識を深める						
学習到達 目標	サービス接遇検定3級を取得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	サービス業に必要な要件		明るさ、誠実さ、適切な判断と表現と身だしなみを心得る				
2	サービス業の従業要件		良識、清潔感、素直な態度、適切・協調性・忍耐力のある行動を理解する				
3	専門知識		サービス意義、機能、種類を理解する				
4	従業知識		商業活動、経済活動を理解する				
5	従業知識		商業用語、経済用語を理解する				
6	一般知識		サービス業に関わる年中行事などを理解する				
7	社会常識		サービス業に関わる用語、慣用句、ことわざなどを理解する				
8	人間関係		人間関係が理解できる				
9	接遇知識		対人心理、一般的なマナーを理解する				
10	接遇知識		接遇者としてのマナー、服装を心得る				
11	接遇者としての話し方		敬語の基本を理解する				
12	接遇者としての話し方		接遇者としての基本的な話し方を心得る				
13	接遇者としての話し方		適切な提示、説明の仕方を理解する				
14	実務技能		問題処理、環境整備、金品管理について理解する				
15	実務技能		社交儀礼の業務について理解する				
使用テキスト 教材・教具	サービス接遇検定 3級公式テキスト(早稲田教育出版) サービス接遇検定 実問題集3級(早稲田教育出版)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%、検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接遇検定3級 令和7年11月9日(日)		
備考							

授業科目	ブランド企画 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	SHOP(ブランド)ビジネスを客観的に捉える目線を持ち自身のブランドを立ち上げる基礎力を身につける						
学習到達 目標	客観的視点に基づきビジネス的にSHOPのコンセプトメイキングを行う						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 商品MDの実務経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	SHOP(ブランド)の考察		SHOPとブランドの違い、自身の周りのSHOPを調査				
2	SHOP(ブランド)の考察		SHOP調査の資料作成				
3	SHOP(ブランド)の考察		SHOP調査を発表(客観的事実を見る目を持つ)				
4	SHOP立ち上げの発案		今現在の自身の興味、好きなジャンルなどをブレスト				
5	SHOP立ち上げの発案		選択と集中(必要なコンテンツや強みを導き出す)				
6	SHOP立ち上げの発案		イメージを可視化する(ブレストからコラージュ作成)				
7	計画的な視点		収益、費用、係数に関する知識				
8	計画的な視点		収益シュミレーションの演習				
9	計画的な視点		費用に関する計画				
10	商品戦略		アイテム構成の考え方				
11	商品戦略		予算とアイテム選定				
12	商品戦略		仕入れのシュミレーション				
13	SHOP概要作成		SHOP名、コンセプト、概要の作成				
14	SHOP概要作成		SHOP名、コンセプト、概要の作成				
15	レポート発表		レポートを各自発表				
使用テキスト 教材・教具	スライド、配布資料、各自PCを使い資料作成						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	毎時間の小テスト40%、SHOP調査15%、コラージュ15%、ブランド概要30%で評価する						
履修上の 留意点	毎時間のレポート必須の為要出席			検定試験の 概要			
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する						

授業科目	ファッション販売実技Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得						
学習到達 目標	現場で通用する店舗レイアウト術を身につける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論	店舗レイアウトについて					
2							
3	店舗レイアウト	現場視察					
4							
5		見取り図作成					
6							
7		予算書作成、購入先リサーチ					
8							
9		企画書作成					
10							
11							
12							
13		プレゼン					
14							
15		まとめ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	予算書、企画書50%、プレゼン50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノート、ファイルを準備する						

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	骨格診断	骨格診断、診断実演					
2	〃	スタイルアップコーデのコラージュ作成					
3	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割、演習発表					
4	〃	商品企画における色彩、流行色情報					
5	〃	デザインと色彩					
6	〃	染色、ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)					
7	〃	照明の色と種類					
8	検定対策	出題傾向、色票問題練習					
9～14	〃	模擬テスト、解説					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩Ⅰ』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判・3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパーA3・A3クリアファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2026年1月24日(土)		
備考							

授業科目	ファッション知識Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	メンズ・キッズアイテム、服飾雑貨知識を学ぶ						
学習到達 目標	現場で通用するアイテム知識を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ・店長経験のある講師が、その経験を活かし、アイテム知識・コーディネート技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	メンズアイテム	アイテムの分類					
2		スーツ					
3		ジャケット					
4		ブランドごとのアイテム特徴					
5		シャツ					
6		ニット					
7		カットソー					
8		ブランドごとのアイテム特徴					
9	子供服	概要、ベビー					
10		トドラー					
11		キッズ					
12	服飾雑貨	スカーフ、マフラー、ネクタイ					
13		アクセサリー、靴					
14		バッグ、ハット					
15	まとめ						
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備する						

授業科目	デジタル演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	武智 明子			時間割	月曜 4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得しクリエイションデザインの幅を広げる						
学習到達 目標	基本的な操作を習得し、表現ツールとして使用出来るようになる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】【実務経験内容】 商社企画部にて販促物企画制作。グラフィックデザイナーとして広告販促物の制作企画に携わる					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	Illustrator	直線ツール、曲線ツールの使い方					
3～4	〃	ツールの使い方を応用してイラストを描く					
5～6	Photoshop	切り抜き、クリッピングマスクの使い方					
7～8	〃	画像調整の仕方					
9～10	Illustrator・Photoshop	Illustratorを使用しPhotoshopで使用した画像を加工					
11～12	〃	Illustrator、Photoshopを使用しオリジナルカードを作成					
13～14	〃	カード作成					
15	〃	カード完成後、発表					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	写真撮影技法Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	服部 拓也			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと 目的	カメラ機材の扱い方、撮影技術を学び、撮影によるファッションの表現方法を考える。撮影を通じて、ファッションのイメージを深め、それを表現する撮影テクニックを学ぶ						
学習到達 目標	デジタル一眼カメラの基本的な性質を理解し、イメージを写真により表現する						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 撮影に関する基礎知識を講義し、カメラ実機やストロボを用いた撮影方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	撮影基礎	カメラとレンズの基本知識(シャッタースピード、F値、ISO感度など)を復習する 様々な写真イメージを共有し、撮影のイメージの幅を広める 一眼レスカメラを使い簡単な撮影をし、基本知識の理解を深める					
4～6	写真表現(ロケ撮影)	カメラの基本知識の定着を図る 自然光での撮影をし、自然光での表現方法を学ぶ 画角、背景等意識をした撮影を経験する					
7～8	写真表現(ロケ撮影)	複数イメージを撮影し撮影イメージの幅を広め、 写真レイアウトについての理解を深める。					
9	ライティング基礎	ストロボ機材、バック紙の扱い方を学ぶ。 ライティングによる基本的な光の性質、表現方法を学ぶ。					
10～12	写真表現(ライティング)	ライティングによる撮影を通じて、ライティングを駆使した光の表現方法の理解を深める バック紙背景での撮影のイメージの幅を広める					
13～15	写真表現(モデル撮影)	これまでの授業での学びを活用し、コーディネートされた衣装のブランディング撮影をする 衣装作成者(またはコーディネーター)の意図したイメージを共有・理解した上でそれを表現する					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、パソコン、カメラ(一眼・デジカメ)、ストロボ、バック紙など						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、作品80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	英会話Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子	時間割	木曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を習得する				
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現と、緊急時やトラブルに対応するフレーズを身に付ける				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無 【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	前期の復習	前期で学んだ語彙やフレーズを復習する			
2	店内で使う基本表現①	接客で用いる基本的な語彙とフレーズを学ぶ			
3	店内で使う基本表現②	店内で使用するモノや場所の語彙を学ぶ			
4	店内で使う基本表現③	店内で使用するモノや場所の語彙と、想定される店内応対に関する表現を学ぶ			
5	接客①	お迎え入れ→アプローチ→商品選択までの流れについての表現を身に付ける			
6	接客②	商品を選択する際に必要な表現と在庫確認について説明する際の表現を身に付ける			
7	接客③	欠品と取り寄せについての説明と、他の商品をお勧めする際の表現を身に付ける			
8	接客④	試着対応と褒め言葉、寸法直しについての表現を身に付ける			
9	接客⑤	クロージング→会計の流れと、その応対についての表現を身に付ける			
10	接客⑥	お見送りの際の声掛けについてのフレーズを身に付ける。数字の表現について学ぶ			
11	接客①～⑥ アウトプット(1)	一通りの流れをシュミレーション練習し、定着させる			
12	接客①～⑥ アウトプット(2)	更に応用できるよう、アクトアウト練習を行う			
13	緊急時対応	急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を身に付ける			
14	レッスン1～13総復習	レッスン1～13の復習とアウトプット			
15	後期終了テスト	後期内容について確認			
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(ISBN: 9784863922037)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること				

授業科目	服飾造形応用			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	由雄 麻由子			時間割	水曜隔週 3・4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	洋服の製作工程である縫製の知識と技術の修得を目指す						
学習到達 目標	ミシンや縫製技術を用いて商品のアレンジができる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 洋裁の実務経験のある教員が、縫製の知識と技術について指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業のガイダンス		授業・制作物について				
2	部分縫い1		ファスナー付け				
3	部分縫い2		パイピング				
4	ペンケース・ポーチ製作1		裁断				
5	ペンケース・ポーチ製作2		ファスナー付けなどミシンを使って縫製				
6	ペンケース・ポーチ製作3		ファスナー付けなどミシンを使って縫製				
7	ペンケース・ポーチ製作4		仕上げ				
8	Tシャツ製作1		パターン作製・型紙カット				
9	Tシャツ製作2		裁断				
10	Tシャツ製作3		ミシン・ロックミシンを使って縫製				
11	Tシャツ製作4		ミシン・ロックミシンを使って縫製				
12	Tシャツ製作5		ミシン・ロックミシンを使って縫製				
13	Tシャツ製作6		ミシン・ロックミシンを使って縫製				
14	Tシャツ製作7		仕上げ				
15	修了テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担						

授業科目	ショッピングマスターⅡ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃		時間割	水曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	ショッピングマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショッピング運営の基本を理解する マップやショッピング見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す					
学習到達 目標	ショッピングマスターの仕事を理解する					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テク ニックなどを指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	前期振り返り	前期授業の振り返り				
2～3	情報収集とアウトプット	インプットとアウトプット				
4	セールスポイント研究	商品の特性を“見つける”“伝える”				
5	販売心理学	顧客の購買行動・心理を研究				
6	コミュニケーション能力向 上vol.2	vol.1を踏まえたコミュニケーション能力の研究				
7～8	レイアウト講座	導線やフォーカルポイントの作成/他業種のVMD研究				
9～13	販売RPG	販売RPG				
14	販売RPG実技テスト	実技テスト				
15	まとめテスト	まとめテスト(筆記)				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	筆記テスト50%、実技テスト50%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ファッションビジネスⅡ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	竹松 容子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	ファッションビジネス能力検定3級テキストを進めながらファッション業界の基礎知識を習得する					
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級合格					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	検定直前対策①		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
3～4	検定直前対策②		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
5～6	検定直前対策③		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
7～8	検定直前対策④		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
9～10	検定直前対策⑤		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
11～12	検定直前対策⑥		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
13～14	検定直前対策⑦		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
15～16	検定直前対策⑧		FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う			
17～18	検定解説		2025年11月実施分の解説			
19～20	2級テキスト ビジネス1章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う			
21～22	2級テキスト ビジネス2章3章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う			
23～24	2級テキスト ビジネス3章4章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う			
25～26	2級テキスト ビジネス5章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う			
27～28	2級テキスト ビジネス6章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う			
29～30	2級テキスト ビジネス7章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う ※修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	『ファッションビジネス3級新版』日本ファッション教育振興協会 『FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版』日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、修了テスト70%で評価する					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2025年11月22日(土)		
備考						

授業科目	マーケティングⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	木曜4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ						
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション業界の現状		現在の市場動向を把握 マーケティングとは				
2	店舗企画		価値の創出 コンセプト パーパス				
3	店舗企画		スタイリングイメージ				
4	店舗企画		STP分析				
5	店舗企画		バイイン SS				
6	店舗企画		バイイン AW				
7	店舗企画		PB企画 生産生産				
8	店舗企画		PB企画 海外生産				
9	店舗企画		立地戦略				
10	店舗企画		52週MD VMD				
11	店舗企画		FA・接客・マネイジメント				
12	店舗企画		デジタル戦略(EC・バーチャルショップ メタバース ライブコマース)				
13	店舗企画		プレスについて				
14	店舗企画		3ヶ年予算計画 初年度月別予算				
15	総論		プレゼンテーション				
使用テキスト 教材・教具	パソコン必須						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する						
履修上の 留意点	企画書を積み重ねていくので出席の意識 を強く持つこと			検定試験の 概要			
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参						

授業科目	スタイリング実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	コーディネート応用の学び、スタイリングブック制作						
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術習得						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	バイイング実習		メンズ服を中心にバイイング術を学ぶ				
2							
3	コーディネート実習		モデルにコーディネート				
4			撮影				
5	物撮り		小物のコーディネートを組み、撮影				
6	コーディネート実習		季節、イベント編				
7			撮影				
8			コーディネートに合わせたディスプレイ法				
9	コーディネート実習		ハイブランドでコーディネート				
10			コラージュ作成				
11	コーディネート実習		セットコーディネート法 平面置き撮り				
12			モデル撮影				
13	コーディネート実習		モデルにコーディネート				
14			撮影				
15	まとめ		まとめ				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する			検定試験の 概要			
備考	各自ノート、ファイルを準備する						

授業科目	サービス接客Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス業について理解し、知識を深める						
学習到達 目標	サービス接客検定3級を取得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期の復習	前期授業の内容を復習し、サービス業についての理解度を確認					
2	前期の復習	前期授業の内容を復習し、サービス業についての理解度を確認					
3	ロールプレイ	これまでの授業で学んだ知識を活かして接客マナーを実演					
4	ロールプレイ	これまでの授業で学んだ知識を活かして接客マナーを実演					
5	サービス接客検定3級 過去問を解く 1	過去問題に取り組む					
6	解答、解説	前回授業の過去問題の解答、解説					
7	サービス接客検定3級 過去問を解く 2	過去問題に取り組む					
8	解答、解説	前回授業の過去問題の解答、解説					
9	サービス接客検定3級 過去問を解く 3	過去問題に取り組む					
10	解答、解説	前回授業の過去問題の解答、解説					
11	サービス接客検定3級 過去問を解く 4	過去問題に取り組む					
12	解答、解説	前回授業の過去問題の解答、解説					
13	サービス接客検定3級 過去問を解く 5	過去問題に取り組む、接客マナーの実演					
14	解答、解説	前回授業の過去問題の解答、解説					
15	サービス接客検定3級 合格対策	サービス接客検定3級合格に向けて重要ポイントの確認					
使用テキスト 教材・教具	サービス接客検定 3級公式テキスト(早稲田教育出版) サービス接客検定 実問題集3級(早稲田教育出版)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%、検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接客検定3級 令和7年11月9日(日)		
備考							

授業科目	ブランド企画Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	ブランド企画Ⅰの概要を元に代表アイテムの選定、VMDの作成などSHOPを可視化				
学習到達 目標	SHOPのコンセプトを元にヴィジュアル作成、マーケットへアプローチする力を身につける				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 商品MDの実務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	SHOPの骨子作成	コンセプトに合わせたコンテンツを考察			
2	SHOPの骨子作成	洋服と並行してプラスできるコンテンツを組み合わせる			
3	SHOPの骨子作成	再度コンテンツと合わせたコンセプトを作成			
4	VMDを考える	SHOPのアイテムとコンテンツがイメージできる内容を可視化			
5	VMDを考える	コラージュ作成			
6	VMDを考える	VMD発表			
7	SHOPロゴを作成	SHOP名、SHOPロゴを考える			
8	ロゴアイテムの企画	SHOPロゴを使ったロゴアイテムを企画			
9	ロゴアイテムの企画	プリント製版、プリント実習			
10	ロゴアイテムの企画	〃			
11	ロゴアイテムの企画	〃			
12	ロゴアイテムの企画	〃			
13	VMD作成	撮影、加工VMD作成			
14	VMD作成	撮影、加工VMD作成			
15	SHOP VMD作成	SHOP VMD付き概要提出			
使用テキスト 教材・教具	スライド、配布資料、各自PCを使い資料作成				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	コンセプト15%、コラージュ10%、ロゴ作成15%、ロゴアイテム作成30%、VMD概要30%で評価する				
履修上の 留意点	アイテム制作の実習あり		検定試験の 概要		
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する				

授業科目	ファッション販売実技Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、応用技術の習得				
学習到達 目標	現場で起きた問題に対して臨機応変に対応できる知識と技術を習得する				
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	店舗レイアウト	プレゼンで選ばれたレイアウトの実践、修正			
2					
3					
4					
5	服のお畳み	袋入れや渡し方の所作			
6	ロープレ	レジの使い方、お金の渡し方などの所作			
7					
8					
9					
10		お客様へのアプローチ、フィッティングの案内			
11	自身のブランドの店作り	ブランドコンセプトに合わせたレイアウト法			
12					
13					
14					
15	まとめ	まとめ			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する				

授業科目	店舗実習 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	—			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗での実践教育を通じて、必要な知識や技術の習得						
学習到達 目標	各店舗での様々な業務を経験するとともに、コミュニケーション能力を身につける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各店舗実習先で実際に業務に携わっている者が指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	実習の心得		接客技術とスタッフの仕事について				
2	店舗リサーチ、準備		各店舗のリサーチとプレゼンテーション 履歴書作成等実習準備				
3～27	店舗実習		各店舗において職業体験、まとめ				
28	実習まとめ		面談・お礼状・報告書作成				
29	実習まとめ		報告会・意見交換				
30	実習まとめ		ポートフォリオ作成・報告会・意見交換				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	各店舗からの評価結果60% ポートフォリオの作成と発表40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	三根生 那穂子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションショー・ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する。基礎知識を 学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分で仕上げられるようになる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ヘアメイク講師歴20年の経験を活かし、時代とニーズにあった、ヘアメイクの基礎知識や技術、 応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	スキンケア理論 メイクアップ理論		ヘアメイク道具の説明、スキンケア、メイクアップ理論の説明				
2	ベースメイク理論		ファンデーション、コンシーラー、パウダーの基本知識について説明				
3	眉・凹凸、ゴールデンポイントについて		眉の描き方、ハイライト、シャドー、お顔のゴールデンポイントについて				
4	ポイントメイク		アイメイク、チーク、リップなどのポイントメイク基礎				
5～10	舞台メイク実践		1～4コマの総称知識を踏まえた上での、舞台メイクの実践				
11～15	ヘア基礎		ブロッキング、コーミング、ピン打ち基礎				
16～19	アップ基礎		逆毛、アップ知識				
20～23	カールの作り方		コテの使い方				
24～27	三つ編み・編み込み基礎		いろいろなパターンの三つ編み、編み込みのやり方				
28～30	ヘアメイク作品づくり		基礎を復習しながらの作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献	ストレートアイロン						
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	三根生 那穂子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションショー・ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する。基礎知識を 学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分で仕上げられるようになる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ヘアメイク講師歴20年の経験を活かし、時代とニーズにあった、ヘアメイクの基礎知識や技術、 応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくりⅠ		テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る				
6～10	テーマ別作品づくりⅡ		テーマを決めてヘアーのみ相モデルで作品を作る				
11～15	テーマ別作品づくりⅢ		ヘアメイクトータルでの作品づくり				
16～18	ヘアアレンジ		アップスタイルのしっかりしたものを作る				
19～23	メイクアレンジ		ショー用のヘアメイク				
24～28	ショー用ヘアメイクアレンジ		16～23コマの学びをもとに、時間を決めて丁寧に作品を作る				
29～30	完成作品作り		進級にあたっての作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献	ストレートアイロン						
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							